



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社CKサンエツ  
コード番号 5757 URL <http://www.cksanetu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,581	△27.0	174	△86.2	△1,289	—	△886	—
2020年3月期第1四半期	19,987	△10.6	1,266	2.2	1,752	51.5	1,060	65.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △790百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 1,188百万円 (61.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△108.23	—
2020年3月期第1四半期	130.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	57,853	39,165	59.3	4,187.06
2020年3月期	56,004	40,361	63.3	4,328.49

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 34,281百万円 2020年3月期 35,452百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点では適正かつ合理的な算定が困難であることから、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,867,000 株	2020年3月期	8,867,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	679,629 株	2020年3月期	676,604 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	8,190,415 株	2020年3月期1Q	8,132,207 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルスの感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、引き続き、業績予想の開示を未定とさせていただきます。なお、今後、適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言により、経済活動が大幅に縮小したため、景気は急速に悪化し、極めて厳しい状況となりました。当社グループ（当社及び連結子会社）の主要原材料で国際相場商品である銅の国内建値は、中国の景気が回復しつつあることと、感染拡大でチリの鉱山の操業が一部停止したため、上昇に転じました。

当社グループでは、需要の減少に対して、臨時休業日を設け、雇用調整助成金を受給しました。また、2020年6月26日に、当社の100%子会社のサンエツ金属株式会社は、①日立アロイ株式会社から黄銅棒事業及び加工品事業と黄銅線製造設備を譲り受ける契約と、②日立金属株式会社から同社桶川工場の銅合金事業譲り受け、日立金属商事株式会社から当該事業に関する営業権を譲り受ける契約を締結しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、感染拡大の影響により、伸銅事業の販売量が、住宅・建設や、電気・電子機器などの分野で減少したため、売上高は145億81百万円（前年同四半期比27.0%減少）となり、営業利益は1億74百万円（同86.2%減少）となりました。営業外費用として、デリバティブ損失が2億22百万円、デリバティブ評価損が11億57百万円発生したため、経常損失12億89百万円（前年同四半期は経常利益17億52百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は8億86百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益10億60百万円）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

伸銅

伸銅事業では、感染拡大の影響により、住宅・建設や、電気・電子機器などの分野での需要が低迷したため、販売量は2万788トン（前年同四半期比17.6%減少）、売上高は116億65百万円（同29.6%減少）となり、セグメント損益は58百万円のセグメント損失（前年同四半期はセグメント利益8億81百万円）となりました。

精密部品

精密部品事業では、感染拡大の影響により、レンズ交換式カメラに使用されるカメラマウントなどの需要が低迷したため、売上高は7億30百万円（前年同四半期比28.0%減少）となり、セグメント損益は68百万円のセグメント損失（前年同四半期はセグメント利益11百万円）となりました。

配管・鍍金

配管・鍍金事業では、感染拡大の影響により、配管機器需要が低迷したため、売上高は21億85百万円（前年同四半期比8.7%減少）となり、セグメント損益は2億14百万円（同21.4%減少）のセグメント利益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は374億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億23百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が26億28百万円減少したものの、現金及び預金が35億99百万円増加したことによるものであります。固定資産は203億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億25百万円増加しました。この結果、資産合計は578億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億49百万円増加しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は164億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億38百万円増加しました。これは主に、未払法人税等が10億98百万円減少したものの、短期借入金が40億円増加したことによるものであります。固定負債は22億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加しました。この結果、負債合計は186億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億45百万円増加しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は391億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億96百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失が8億86百万円であったことと、期末配当3億52百万円を行なったことによるものであります。この結果、自己資本比率は59.3%（前連結会計年度末は63.3%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言は解除されたものの、現時点では収束時期の見通しが立たず、第2波の影響等も不確定であるため、当社グループの業績予想の算定が困難な状況が続いております。今後、業績予想の合理的な算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

なお、当第 1 四半期連結累計期間において、伸銅事業の主要原材料である銅の建値が上昇したことにより、営業外費用として、相場リスクをヘッジするためのデリバティブ取引で、一時的にデリバティブ損失 2 億 22 百万円、デリバティブ評価損 11 億 57 百万円が発生したため、経常損失 12 億 89 百万円を計上しましたが、その分は、第 2 四半期連結累計期間以降に、原料相場差益の発生が見込まれます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,292	7,892
受取手形及び売掛金	18,927	16,298
商品及び製品	4,599	4,333
仕掛品	4,393	4,243
原材料及び貯蔵品	3,802	4,100
その他	785	649
貸倒引当金	△52	△45
流動資産合計	36,747	37,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,741	12,088
減価償却累計額	△5,496	△5,587
建物及び構築物 (純額)	6,244	6,501
機械装置及び運搬具	22,089	22,360
減価償却累計額	△19,723	△19,927
機械装置及び運搬具 (純額)	2,365	2,432
土地	6,673	6,863
建設仮勘定	1,281	1,348
その他	1,873	1,908
減価償却累計額	△1,560	△1,600
その他 (純額)	313	308
有形固定資産合計	16,877	17,455
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	382	382
その他	27	26
無形固定資産合計	410	409
投資その他の資産		
投資有価証券	1,059	1,222
退職給付に係る資産	21	21
繰延税金資産	799	1,187
その他	90	88
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,969	2,518
固定資産合計	19,257	20,382
資産合計	56,004	57,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,784	5,308
短期借入金	1,700	5,700
未払金	816	698
未払費用	777	784
未払法人税等	1,218	120
賞与引当金	1,029	415
設備関係支払手形	1,057	922
その他	1,009	2,481
流動負債合計	13,392	16,430
固定負債		
繰延税金負債	337	322
再評価に係る繰延税金負債	280	280
退職給付に係る負債	1,336	1,363
その他	296	290
固定負債合計	2,250	2,257
負債合計	15,643	18,688
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,340	4,340
利益剰余金	28,822	27,583
自己株式	△843	△890
株主資本合計	35,076	33,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△149	△32
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△38	△41
退職給付に係る調整累計額	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	375	490
非支配株主持分	4,909	4,884
純資産合計	40,361	39,165
負債純資産合計	56,004	57,853

## ( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

( 四半期連結損益計算書 )

( 第 1 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 6 月 30 日)
売上高	19,987	14,581
売上原価	17,700	13,398
売上総利益	2,286	1,183
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	253	222
給料及び手当	272	284
退職給付費用	7	7
その他	486	494
販売費及び一般管理費合計	1,019	1,008
営業利益	1,266	174
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	15	12
デリバティブ利益	50	—
デリバティブ評価益	372	—
その他	54	66
営業外収益合計	493	79
営業外費用		
支払利息	2	0
為替差損	0	6
デリバティブ損失	—	222
デリバティブ評価損	—	1,157
その他	4	156
営業外費用合計	7	1,544
経常利益又は経常損失 (△)	1,752	△1,289
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	35	15
特別利益合計	35	15
特別損失		
固定資産除却損	0	22
投資有価証券評価損	—	8
特別損失合計	0	31
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	1,787	△1,305
法人税等	563	△325
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,223	△980
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	163	△94
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	1,060	△886



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 6 月 30 日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,223	△980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	192
為替換算調整勘定	1	△2
退職給付に係る調整額	2	0
その他の包括利益合計	△35	190
四半期包括利益	1,188	△790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,024	△771
非支配株主に係る四半期包括利益	164	△19

( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

( 継続企業の前提に関する注記 )

該当事項はありません。

( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 )

税金費用については、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

( 追加情報 )

前事業年度の有価証券報告書 ( 追加情報 ) 「会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	16,579	1,014	2,393	19,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,046	16	0	1,062
計	17,625	1,031	2,393	21,049
セグメント利益	881	11	273	1,167

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,167
セグメント間取引消去	207
全社費用	△108
四半期連結損益計算書の営業利益	1,266

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,665	730	2,185	14,581
セグメント間の内部売上高又は振替高	608	16	0	625
計	12,274	747	2,185	15,207
セグメント利益又は損失(△)	△58	△68	214	88

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	88
セグメント間取引消去	200
全社費用	△114
四半期連結損益計算書の営業利益	174

(重要な後発事象)

該当事項はありません。